

豊田市洪水ハザードマップ

崇化館 梅坪台 浄水 朝日丘 逢妻 中学校区

命を守る行動をとろう！

想定される最大の浸水状況

1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨

風水害時の指定緊急避難場所

番号	名称	電話	避難スペース
1	崇化館中学校	31-0197	体育館
4	朝日小学校	31-4880	体育館
5	梅坪台中学校	31-2131	体育館
6	梅坪小学校	31-4882	校舎③(浸水)
7	浄水中学校	42-8400	体育館
8	浄水小学校	45-0556	体育館
9	浄水北小学校	63-5091	体育館
10	豊田高等学校	45-8622	体育館
11	朝日丘中学校	32-0198	体育館
12	童子山小学校	32-0196	校舎③(浸水)
14	衣笠小学校	34-2030	体育館
15	豊田西高等学校	31-0313	体育館
16	朝日丘十中学校区の方は、他学区の避難場所の利用も必要です。		
17	逢妻中学校	33-7881	体育館
18	小清水小学校	32-0194	体育館
19	美山小学校	28-3458	体育館
20	衣笠高等学校	33-1080	体育館
22	平井小学校	80-3011	北校舎、南校舎②(土砂)
24	市井小学校	80-0385	体育館
25	美里中学校	89-1731	体育館
26	野見小学校	80-0372	体育館
28	広川小学校	80-2801	体育館
47	土橋小学校	29-5285	体育館
60	猿投中学校	45-0039	体育館
61	青木小学校	45-0025	体育館
64	井郷中学校	45-8222	体育館
65	四郷小学校	45-2283	体育館
66	井上小学校	45-2411	体育館
67	猿投豊林高等学校	45-0621	体育館

一時避難場所(協定施設)

番号	名称	推奨学区
1	豊田高等(第二体育館)	崇化館
	幸駐車場は利用できません。	
	中京大学	崇化館
	愛知工業大学	崇化館
4	愛知学院大学	朝日丘
5	ZENT大清水店(駐車場)	梅坪台
	ZENT豊田本店(駐車場)	
	ZENT若林店(駐車場)	

一時車両退避場所(公共施設)

番号	名称	推奨学区
8	市民文化会館	崇化館
9	見森公園(駐車場)	崇化館
10	西山公園(駐車場)	崇化館
11	新生公園(駐車場)	朝日丘
	猿投公園(駐車場)	
14	土橋公園(駐車場)	
15	井上公園(駐車場)	
16	丸山公園(駐車場)	朝日丘
	石野運動広場(駐車場)	

水位観測所

番号	名称
1	高橋
21	矢作(古津41.0K地点)
6	京町
13	東梅坪橋
27	吉森橋
8	千足
14	千足橋
11	駅前
20	矢作(左津38.8K地点)
24	平戸橋
28	京ヶ峰橋

官公庁・消防署・警察署

番号	名称	電話
1	豊田市役所	31-1212
14	中消防署逢妻分署	36-2450
20	豊田警察署	35-0110
29	豊田市駅前交番	35-0110
41	崇化館交番	33-0750
28	梅坪交番	35-0110
42	梅坪台交番	31-0402
60	浄水交番	42-5920
12	消防本部中消防署	35-9720
	防災学習センター	35-9716
43	朝日丘交番	34-1561
56	朝日丘交番	35-0110
27	宮口駐在所	35-0110
32	美山交番	35-0110
44	逢妻交番	34-3220
2	鏡鏡コミュニティセンター(併置交番)	45-4807
3	高橋コミュニティセンター	80-4729
9	北消防署	43-0093
17	南消防署西分署	25-2570
24	猿投台交番	35-0110
30	高橋交番	35-0110
31	御立交番	35-0110
33	土橋交番	35-0110
45	高橋交番	88-4887
46	美里交番	80-1697
54	猿投台交番	45-2838

地下施設

番号	名称
1	ギャバークィング
2	豊田総合地下駐車場
3	豊田市役所南庁舎
4	豊田市役所東庁舎
5	新豊田地下駐車場
6	コモバークィング
7	キタバークィング

雨量観測所

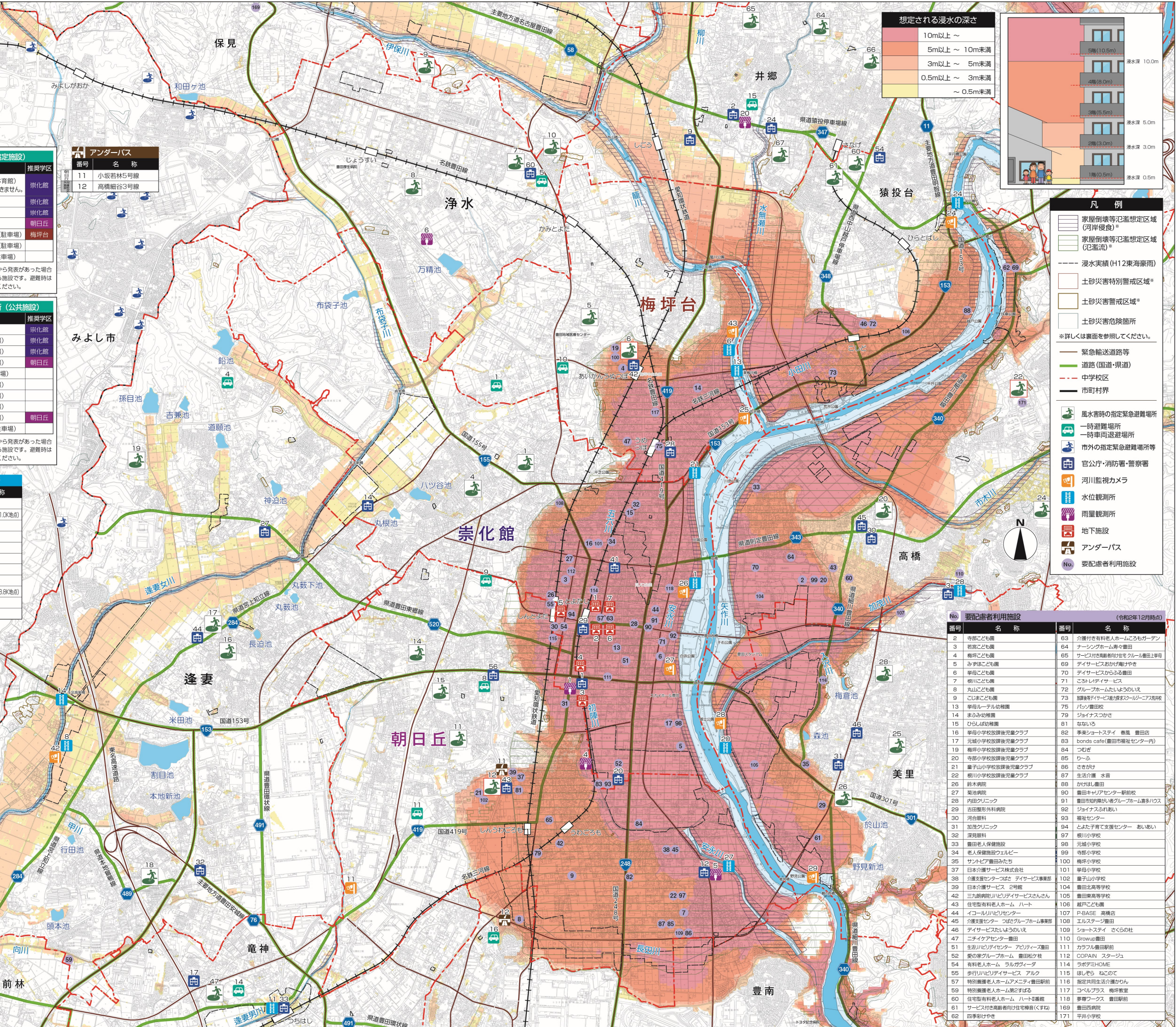
番号	名称
1	西町
6	大清水
4	豊田(常盤町)
5	長興寺
20	四郷

河川監視カメラ

番号	名称
26	高橋付近(矢作川)
27	久澄橋付近(矢作川)
25	龍川合流点付近(矢作川)
43	京町(龍川)
11	細谷町(逢妻男川)
42	千足(逢妻女川)
24	平戸橋下付近(矢作川)
28	加茂川水門付近(矢作川)
29	竜宮橋付近(矢作川)

注意事項

- マップに示した浸水の手推される深さや範囲は、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては浸水の想定と異なる地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さと異なる場合があります。
- このマップは、洪水浸水想定区域図、ため池ハザードマップなどの情報に基づいて作成されています。
- 国・自治体河川からの情報は、各河川管理者が「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」(平成27年7月)に基づき更新を行っています。
- 一部の豊田川河川からの情報は、「小規模河川の浸水想定区域図作成の手引き」(令和2年6月)に記載されている土壌研究所RRIモデルを用いて解析を行っています。
- 内水氾濫により想定される浸水深は、20cm以上を示しています。
- ため池からの情報は、浸水のため池が満水した時の影響範囲を示しています。
- 洪水浸水(平成12年東海豪雨)の区域は、当時の観測データに基づき作成したものを示しています。このマップは、土地利用や河川改修の進捗(宅地造成等)を反映した上で解析結果を掲載しているため、浸水実績(平成12年東海豪雨)が浸水想定区域内に含まれていないことがあります。
- 土砂災害警戒区域等は令和2年12月8日現在の内容です。
- 事後の基礎調査によって土砂災害警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります。
- 一時避難場所・一時車両退避場所は、市全域を対象とし、一時的に利用できる施設です。





災害から命を守るのは まず、あなた自身です



【ハザードマップとは】
豊田市洪水ハザードマップは、大雨による被害から皆さんが避難する際の参考となる情報をまとめたものです。このマップには、矢作川をはじめとした市内の主要な河川が大雨により氾濫した場合に浸水が想定される区域や深さ、土砂災害の危険箇所、避難場所などを表示しています。

1 災害リスクを知ろう

まずは、自分の住んでいる地域の災害リスク(被害想定)を把握しましょう。
河川の氾濫によって予想される浸水の範囲と深さのほか、指定緊急避難場所などの情報が記載されています。
想定最大規模降雨(1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨)での被害想定になります。
1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨: 1,000年毎に1回発生する周期的な大雨ではなく、1年間という期間でみた場合、毎年1/1,000(0.1%)程度の確率で発生する規模の大雨のことです。発生率は低いです。今年や来年に発生する可能性もあります。何より、ひとたび発生する規模が大雨となるため、いざという時に命を守る行動をとるために日頃から十分な備えが必要です。



詳しくはこちらのWebで・・・
洪水ハザードマップに関する様々な情報をまとめています。
●洪水ハザードマップデータ(PDF) ●とよたマップ(防災マップ)*
●河川氾濫等の解析条件 ●リアルタイム防災情報 など
とよたマップ(防災マップ)*: Web上の地図に様々な災害リスクを重畳して表示できる地図情報サービスです。自由に拡大・縮小ができるため、自宅付近の災害リスクをより詳細に確認することができます。

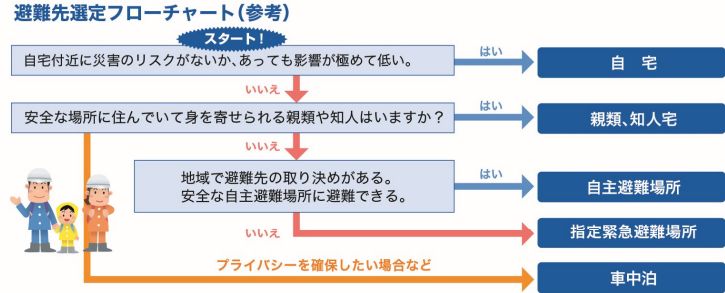
2 避難先と避難経路を確認しよう

緊急時にあわてず無事に避難するには、事前の準備と確認が重要です。
避難行動について知ろう

水平避難(立退き避難) 浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険区域から離れ、安全な場所へ避難します。 濡れた場所への移動のため、避難に一定の時間が必要です。事前に安全な避難経路や移動手段を確認し、余裕を持って避難を開始しましょう。	垂直避難(上階等移動) 安全な場所へ水平避難する時間がない場合や逃げ遅れてしまった場合は、命を守るために、自宅の2階や近所の頑丈な建物のなるべく高い階など危険が及ばない場所に避難します。 あくまで命を守るための行動であり、浸水が長時間継続した場合や危険区域内に立止した場合の問題点も考慮しておきましょう。豊田市には浸水が1週間続く箇所もあります。	屋内安全確保(在宅避難) 浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険がない場所または影響が少ない場所で、屋外に避難する方がかえって危険と判断される場合は、自宅などに留まり、安全を確保します。 電気・水道・ガスの停止に備えた準備や食料、常備薬などの用意を日頃からしておきましょう。
---	--	---

避難先を考えよう・表面のマップにアイコン表示がある避難先は「指定緊急避難場所」と「一時避難場所(一時車両退避場所)」です。
・避難先はこの2つである必要はありません。下で紹介する施設等を参考に、自身や自宅の状況に応じて最適な避難先を考えておきましょう。

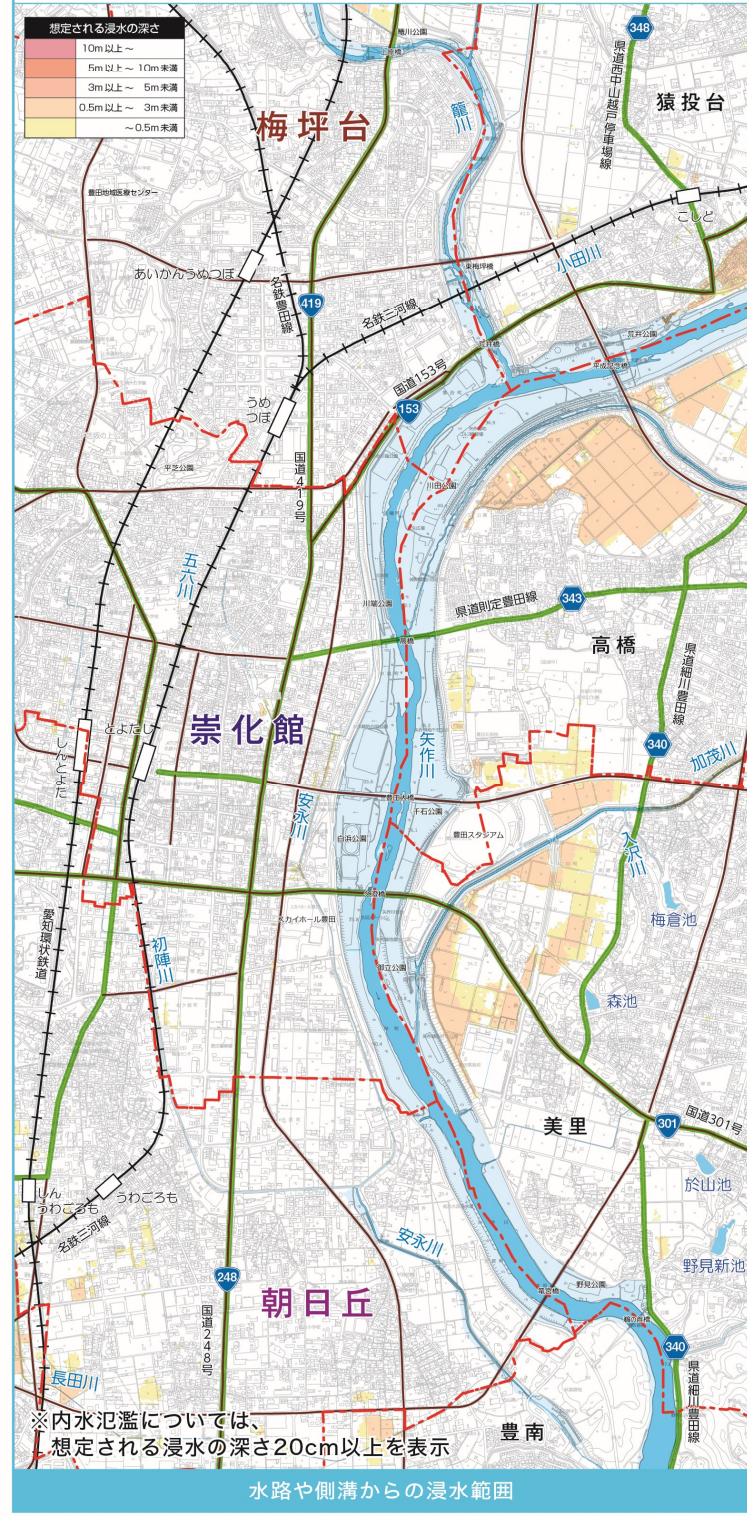
指定緊急避難場所 災害の危険から身を守るために緊急的な避難先として市が指定している施設です。風水害時に使用できない緊急避難場所もあり。	車中泊 安全な場所に停めた車中の避難です。プライバシー確保に努め、エコノミーシッター確保や非常食・飲料水・常備薬などの用意が必要です。指定緊急避難場所や一時避難場所を活用しましょう。
自宅 屋外に避難する方がかえって危険な場合があるため、屋内で身の安全を確保する在宅避難も考えましょう。危険を感じたら自宅の2階へ垂直避難するなどを守りましょう。	自主避難場所 自治体が指定する避難場所です。指定緊急避難場所が開設されるまでの待機場所や住民の避難所など地域によって指定の有無や取扱いが異なります。
親類・知人宅 安全な場所に身を寄せられる親類や知人がいれば、避難先として活用を考えましょう。日頃から避難について相談しておきましょう。	緊急退避場所(最後に命を守る場所) 逃げ遅れた場合などに、命を守るために緊急的に安全を確保する場所です。すぐに移動できる少しでも安全な場所を、あらかじめ緊急退避場所として決めておきましょう。



雨が激しく・長くなるほど、発生する洪水の規模が大きくなります。

1 大雨の初期・浸水の発生(激しい雨が降り続く)
10年に1回の確率で発生する規模の大雨

【浸水状況】
身近な道路の水路や側溝などから水があふれるものの、浸水はまだ浅い。



※出典:内水浸水想定区域図

大雨が降った時に生じる災害リスク

河川氾濫による浸水
河川の水位が上昇し、堤防から水があふれたり、堤防が崩れたりすると、家屋、道路、農地などが水につかり、大雨の規模によっては、ビルの5階以上が水につかる箇所も出てきます。

家屋倒壊等氾濫想定区域
大規模な洪水が発生した場合、家屋が倒壊もしくは流失する危険がある区域です。水平避難が必要であり、垂直避難を避けるべき区域です。家屋が倒壊する原因は、堤防が決壊した場合に発生する激しい氾濫流や河川の流れによって護岸や堤防と共に侵食される河岸侵食などを想定しています。

ため池の決壊
ため池は、利水目的(農業等に使用)以外に、大雨の時に水を一時的に貯める機能を持っています。ため池が決壊した場合は、ため池の下流側で浸水が発生する可能性があります。

土砂災害
大雨に伴って、山の斜面やけが崩れる「がけ崩れ」、緩やかな斜面が地下水の影響などでゆくゆくと崩れていく「地すべり」、崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れ、家屋、道路、農地が土砂で埋まる「土石流」などで発生する災害です。

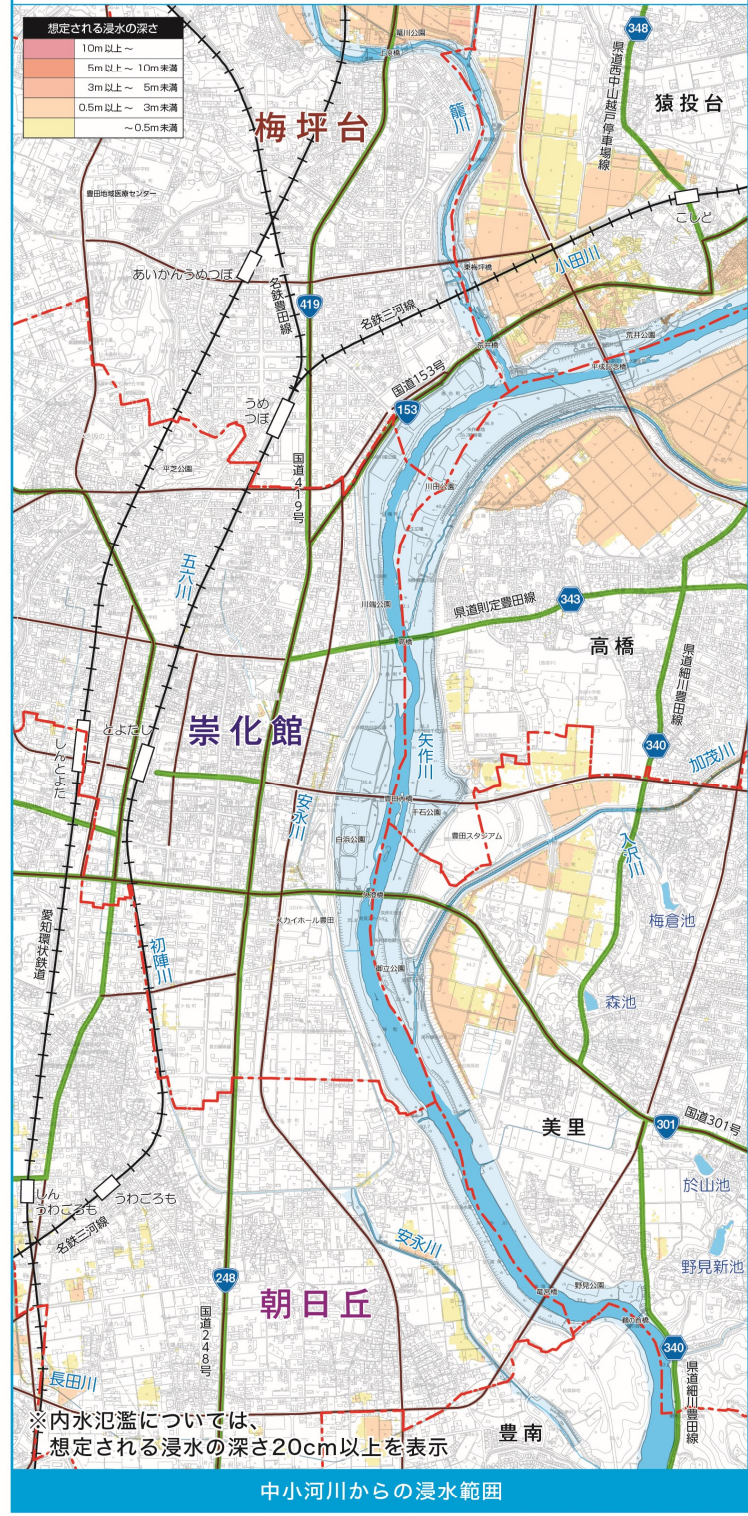
土砂災害警戒区域(通称イエローゾーン)
土砂災害が発生した場合に、住民の生命や身体に、危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン)
土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

台風や豪雨によって引き起こされる洪水は、「雨の強さ」や「あふれる場所」(大河川、中小河川、水路など)によって、あなたの自宅に被害を与えるのか、また、どれくらいの被害となるかが異なります。
例えば、①激しい雨が続く場合には、水路や側溝から水があふれることがあります。さらに、②非常に激しい雨が続く場合には、中小河川(龍川、安永川、逢妻女川などの河川)からも水があふれることがあります。さらに、③猛烈な雨が降り続く場合には、大河川(矢作川)から水があふれることがあります。

2 雨が強くなる・浸水の広がり(非常に激しい雨が降り続く)
30~50年に1回の確率で発生する規模の大雨

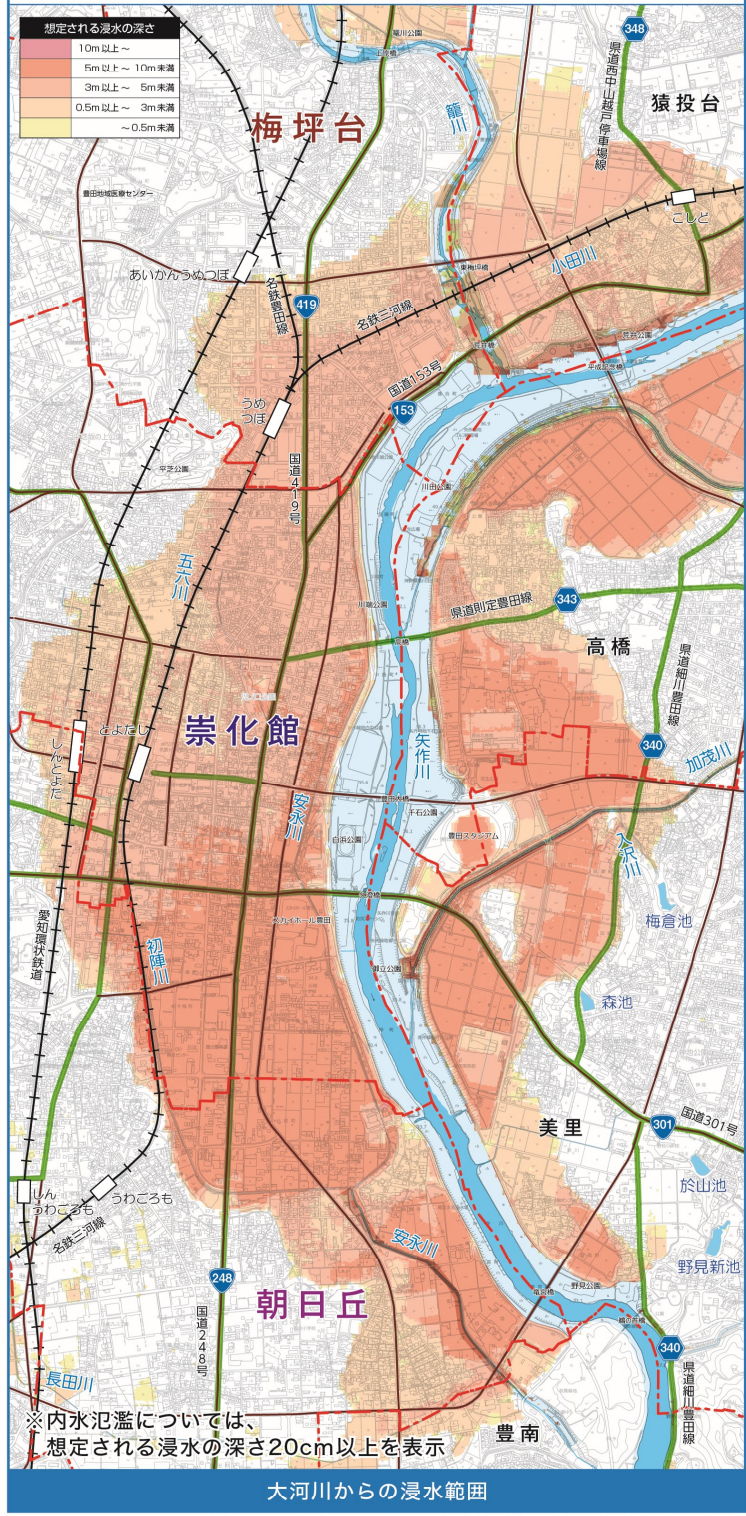
【浸水状況】
矢作川の支川(龍川、安永川)、境川の支川(逢妻女川)の水位が上がり、堤防から水があふれるなど、浸水する範囲も広がり、深さも増していく。



※出典:内水浸水想定区域図及び洪水浸水想定区域図・浸水予想図(一級河川矢作川水系矢作川中流支川/矢作川上流支川/龍川流域)(二級河川境川水系境川・逢妻女川流域、二級河川逢妻女川水系逢妻女川流域)

3 さらに雨が強くなる・浸水のさらなる広がり(猛烈な雨が降り続く)
150年に1回の確率で発生する規模の大雨

【浸水状況】
矢作川の水位が上がり、堤防から水があふれるなど、さらに広い範囲で浸水被害が発生する。



※出典:内水浸水想定区域図、洪水浸水想定区域図・浸水予想図(一級河川矢作川水系矢作川中流支川/矢作川上流支川/龍川流域)(二級河川境川水系境川・逢妻女川流域、二級河川逢妻女川水系逢妻女川流域)及び洪水浸水想定区域図(一級河川矢作川水系矢作川)